

News

邑田 仁^{a,*}, 邑田裕子^b: 雲南写真紀行—高黎貢山の *Rhododendron giganteum* (ツツジ科) と *Bauhinia variegata* (マメ科)

^a東京大学大学院理学系研究科附属植物園

^b東京都文京区

Jin MURATA^{a,*} and Hiroko MURATA^b: Photographic Report on the Flora of Yunnan, China—*Rhododendron giganteum* (Ericaceae) and *Bauhinia variegata* (Fabaceae) on Gaoligong Mountains

^aBotanical Gardens, Graduate School of Sciences, The University of Tokyo,

3-7-1, Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo, 112-0001 JAPAN;

^bBunkyo-ku, Tokyo, 112-0001 JAPAN

*Corresponding author: murata@ns.bg.s.u-tokyo.ac.jp

(Accepted on March 5, 2020)

Summary: In the course of our field trip to Gaoligong Mountains, west of Yunnan, in March 2019, we came across the year's final flowers of *Rhododendron giganteum* Forrest ex Tagg on the snow covered Pianma Pass at a height of 3000 m above sea level and the mass flowering of *Bauhinia variegata* L. var. *candida* (Aiton) Buch.-Ham. on the hillside along Nujian River. Flowers of the *Bauhinia* are cooked as a vegetable after soaking in water to remove stimulus. In Yunnan, we can enjoy many other wild vegetables such as the flowers of *Rhododendron decorum* Franch., *Sophora davidii* (Franch.) Skeels and *Caragana sinica* (Buc'hoz) Rehder, and the young shoots of *Keteleeria davidiana* (Bertrand) Beissn., *Acacia* sp., and *Toona sinensis* (A. Juss.) M. Roem.

1978年に中国政府が対外開放政策に転じるまで、日本人が中国を訪れることは難しく、特に雲南省は日本の植物分類学者のあこがれの地として残されていた。植物研究雑誌 54 巻 7 号 (1979 年 7 月) に掲載された『雲南植物誌第 1 巻』の書評において前川 (1979) は「(雲南) 植物誌の出版をこいねがうと共に、採集行の成就を願うや切なるものがある」と記している。言に違わず前川文夫博士は 1979 年 10 月に、旅行社が主催する民間

の植物調査団の団長として雲南省昆明を訪ねることになった (前川 他 1981)。この時は私も同行させていただいて多数の植物標本を得ることができた。その後、多くの研究者と植物愛好者が雲南省を調査したに違いないが、果たしてその成果はどうであったか。植物研究雑誌を「雲南」でキーワード検索すると前川の書評以来 40 年間に 73 件の報文が掲載されており、そのうちタイトルに「雲南」が含まれる論文は 13 件である。もちろん研究の幅が広がり、雲南省が日華植物区系やヒマラヤ地域の一部として捉えられている結果であろうが、思っていたより数が少なくて、いささか寂しい気がする。論文にならない植物関連の事柄や植物調査の記録やエピソードのような話題でも個人の記憶にとどめず、積極的に発信していきたいものと思う。

2019 年 3 月 13 日に昆明から車で高黎貢山に向けて出発した。高黎貢山は南北に並ぶ一群の横断山脈の最も西側かつ南に位置し、東側の谷を流れる怒江 (サルウィン川の上流部) と並行して南下している。大理から麗江・シャングリラ方面への交通は少し前から整備され、昆明から空路の便もあるが、怒江に沿って北上する道はマイナーであり、容易には行けない地域であった。しかし現在は高速道路が整備され、一般道も十分整備されて